小平市議会定例会 一般質問通告書

質問の方式 2 一問一答方式

質問件名 マンション等の開発にかかわる問題の解決に向けて

【質問要旨】

小平市では特に東部地域においてマンション建設が急増しており、戸建て住宅も含め市内全域で住宅の開発が進んでいます。新しい市民が増え、まちが活性化するのはよいことですが、いっぽうで住環境の変化についての近隣住民への説明や協議において、問題が起きていることも事実です。

これまで、市民の視点でのマンション紛争の解決をアドバイスするガイドブックをつくることを一般質問で2回提案してきましたが、「ガイドブック—開発事業に関する説明を受けるにあたって—」を作成したことは一歩前進と思っています。

この間、小平市議会においても開発に関する問題での請願をたてつづけに採択しました。このことは個別事案としてだけでなく、市全体として同じ問題に対応するしくみが必要とされていることを意味すると考えます。

また、開発は緑の喪失につながることもあり、都市の緑地保全という意味では一定のバランスを維持することを意識しなければいけない時代に入っています。人口減少時代を見据えてのまちづくりは、ただ単に人を増やすことだけに力を入れることではないと思います。日本全体として少子化対策や男女共同参画推進が完全に成功していない段階のいま、それではまちとまちの間の人の取り合いになりかねません。人の暮らしと環境との調和や、インフラ投資への将来的負担など持続可能なまちづくりをどうしていくか、トータルに考えることが求められています。

以上のような視点で開発に関する質問をします。

- ① 小平市開発事業における手続及び基準等に関する条例の内容について、改正に向けての検討状況は。また、課題となる点は何と考えているか。
- ② 「ガイドブック—開発事業に関する説明を受けるにあたって—」の活用状況は。
- ③ この間の開発にかかわる請願で採択された案件について、市の関わり方の状況は。
- ④ 小平市民等提案型まちづくり条例の活用状況は。アドバイザー派遣などは活用されているか。
- ⑤ 緑地保全の視点から、開発のコントロールについてどう考えるか。緑地保全は景観のみならず温暖化防止、災害対策としてほかのコストを抑える役割もあり、緑地の公有地化について計画的に検討していく必要があると思うがどうか。

上記のとおり、小平市議会会議規則第57条第2項により通告します。

2015年8月31日 小平市議会議長 殿

小平市議会議員 氏名 日向 美砂子

受付番号【 】

26	25	24	23

— (/)